
TEC 29
TRAVELLER ELECTRONIC CONTROL



操作・保守・設置マニュアル

 **Dometic**

英語

すべての家庭にドメティック製品を：ドメティック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当社の製品はすべて自動車での使用を想定しており、自動車を利用したレジャー活動に必要な要件をすべて満たしています。それを支えているのが、75 年を超える当社の経験、最先端の技術、最高品質の材料、優れた職人技、機能的なデザインと環境への配慮です。また当社では、ドメティック製品をどこでも安心してお客様にご使用いただけるよう、独自のドメティックユーロサービス保証をご提供しています。

©DOMETIC - 2003 無断複写・転載を禁ず - 印刷：イタリア -

ドメティック社の書面による事前の許可なくして、何らかの形態または何らかの方法により、本マニュアルの一部を複製、複写あるいは送信することを禁じます。

本マニュアルに記載の図、説明、参考文献および技術データは、あくまで例として示すものであり、拘束力を有するものではありません。

ドメティック社では、製品および安全性の継続的改善に関する方針を推進するため、事前に通知を行うことなく本マニュアルを随時変更し、または随時更新する権利を保有します。

本マニュアルを保管し、今後も参照してください。

「指令 1999/44/EC を履行する執行法および規制に基づき、当該製品を保証します」

不適切な設置を原因とする、および／または不適切な設置に起因する、製品の故障、欠陥もしくは損傷は、当該製造業者による保証の対象外となります。

消費者には、ドメティック社による制約を受けない、公認販売代理店に製品の設置を依頼する権利が付与されています。ジェネレーターセットの故障または欠陥が保証期間内に判明した場合、かかる故障もしくは欠陥は当該保証の対象となります。2 年間の保証期間内にジェネレーターセットの使用時間が **1,000 時間を超えた場合**、または**推奨するスケジュールに従ってメンテナンスを実行しなかった場合**には、保証を無効とするものとします。

ジェネレーター

1 一般情報

1.1	本マニュアルの目的.....	4
1.2	データプレート	4
1.3	安全性	5
1.4	騒音.....	5
1.5	ジェネレーターの概要.....	6
1.6	使用に関する推奨事項.....	6
1.7	操作方法の概要.....	6
1.8	外部コントロールパネル.....	8
1.9	内部コントロールパネル.....	8
1.10	技術データ.....	9
1.11	ディスプレイに表示されるメッセージ.....	10
1.12	定期メンテナンス.....	11
1.13	オイル量の点検.....	11

2 設置方法

2.1	ジェネレーターの固定方法.....	12
2.2	排気システムの設置方法.....	13
2.3	電気接続方法.....	16

3 トラブルシューティング、メンテナンス、リサイクル

3.1	故障、原因、解決策.....	18
3.2	点検リストと点検実施時期.....	19
3.3	臨時メンテナンス.....	20
	TEC 29 配線図.....	23
	TEC 29 スペア部品一覧表.....	24

1 一般情報

1.1 本マニュアルの目的

本マニュアルは、製造業者が作成した、ジェネレーターに付属する重要な資料です。

本マニュアルに記載の情報に従い、ジェネレーターを正しく使用してください。

本マニュアルに記載の情報のうち、ユーザー向けの情報には「」のマークを、ジェネレーターを設置する専門技師向けの情報には「」のマークを付けています。

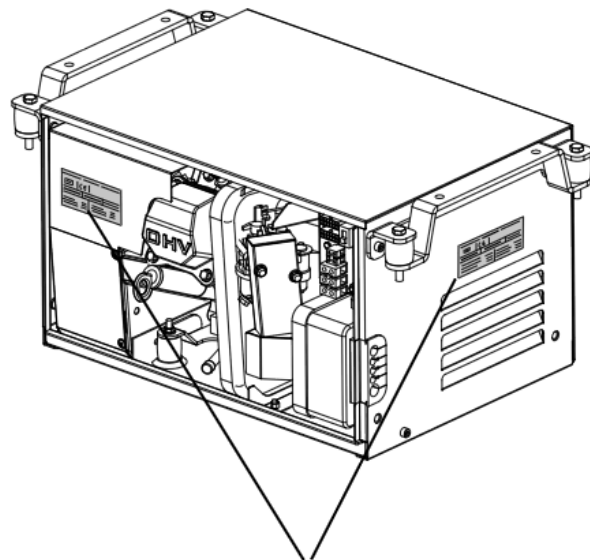
また、特に重要な内容には次のマークを付けています。

 危険が生じるおそれがある作業。

 役立つ情報。

 環境保護に関する情報。

1.2 データプレート



製造業者のデータ	Manufactured by	 Dometic Virgilio, 3 Fori-Italy		
適合マーク				
型式／シリアル番号	製品 No.	型式	シリアル番号	
製造年	958 500 213	TEC 29	xxxxxxxx	
技術データ	日付	2002		
	電圧	V230	Output max	W2900
	周波数	Hz 50	Output	W2600
	Cos 1		D.C. 12V	A 10
	電力率	Kg 44		

ドメティック社は、ジェネレーターの故障を原因とする損害については責任を負いません。

1.3 安全性

ジェネレーターは、密閉したボックスの中に設置されています。したがって、電圧を印可した状態で可動部品や電線に接触する事故が生じる危険はありません。子供や認可を受けていない人による接触を防ぐために、扉には鍵付きのドアロックが設置されています。



注意

- ジェネレーターを使用する前に、毎回点検を行ってください。これにより、事故やモーターの損傷を防ぐことができます。
- 火災の危険を防止し、ジェネレーターが効率よく作動する状態を維持するため、ジェネレーターを容器や閉鎖された場所（アルコーブなど）に収容せず、十分に換気が行われている場所に設置してください。
- ジェネレーターの作動中はジェネレーターや電源システムから熱が生じるため、火傷やケガの危険があります。ジェネレーターの作動中には子供や動物が近づかないようにしてください。
- ジェネレーターのスイッチを素早くオフにする方法や、制御装置の使用法を確認してください。ジェネレーターの使用に関する訓練を受けていない人にはジェネレーターの操作をさせないようにしてください。
- ジェネレーターを使用する際には、必ずジェネレーターのドアを閉めて下さい。
- ガソリン、塗料、溶媒など、可燃性の物質をジェネレーターに近づけないでください。
- ジェネレーターの加熱した部品が可燃性の物質に接触しないようにしてください。
- ジェネレーターの燃料を補充する際には、ジェネレーターのスイッチをオフにし、十分に換気が行われている場所で作業を行ってください。ガソリンは非常に可燃性が高く、爆発するおそれがあります。

- 燃料タンクに燃料を入れすぎないようにしてください。タンクの燃料注入口に燃料があふれないようにしてください。キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- 燃料がこぼれた場合はすべてきれいに拭き取り、こぼれた燃料がすべて蒸発した後にエンジンを始動してください。
- 排気ガスには、非常に毒性の強い、無色・無臭の一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込まないようにしてください。換気が不十分な閉鎖されたガレージや室内でジェネレーターのエンジンを作動させないでください。
- 濡れた手でジェネレーターや接続部に触れないでください。
- ヒューズや熱動開閉器をアンペア数が高い製品に交換しないでください。
- 電気部品の点検は、エンジンのスイッチをオフにしたうえで、資格を有する人が行うようにしてください。
- 安定した場所にジェネレーターを設置してください。ジェネレーターが垂直面に対して 20°以上傾かないようにしてください。
- 自動車の急停止や急加速、急ハンドルは、ジェネレーターのポンプシステムの故障・停止の原因となるおそれがあります。
- ジェネレーターを長期間保管する場合には、少なくとも 30 日に 1 回はジェネレーターを起動し、15 分以上運転してください。

ジェネレーターは、適合宣言書に記載の安全規制を満たしています。

1.4 騒音

ジェネレーターの騒音放射試験については、認定独立研究施設 DNV Modulo Uno で実施しています。同機関は、EC 指令 2000/14 に基づく EEC 認証を取得しています。

音響出力レベルの保証値・測定値： TEC29
LWA 89
7 m 離れた位置から測定した音響出力レベル.... dB(A) 54-59

1.5 ジェネレーターの概要



注意

TEC 29 ジェネレーターは、ハウストレーラー、キャンピングカー、商用車専用として設計・製造を行っています。

したがって、他の車種や船舶での使用に適した設計は行っていません。あらゆる使用法や設置法について想定することは不可能であることから、ドメティック社は明記されているもの以外の使用方法・設置方法に対する一切の責任を負いません。

ジェネレーターは、230 V、50 Hz で交流電流を発電し、各種システムに電力を供給するよう設計されています。そのため、ジェネレーターにはインバーターを設置し、パソコンなど供給される電力の品質による影響を非常に受けやすいシステムにも電力の供給が可能な機能を備えています。

ジェネレーターはシートメタル製ボックスに設置されています。このボックスには、特殊な防音材を使用し、断熱・防音処理を施しています。

1.6 使用に関する推奨事項

ジェネレーターを最良の状態を使用するためには、わずかな過負荷にも注意を払う必要があります。過負荷が長時間続いた場合、保護用サーマル・カットアウトが遮断される原因となります。

新しいエンジンを使用してジェネレーターを運転する場合、運転開始から最低 50 時間が経過するまでは、通常の 70%以下の負荷でエンジンを運転することが重要です。そのため、ジェネレーターの通常運転時には、最大定格連続負荷の約 75%の負荷で運転することをお勧めします。これにより、ジェネレーターの耐用年数を延ばし、効率を最大限高めることができます。また、ジェネレーターが温まっている場合には起動ボタンを短く押して起動し、冷えている場合には起動ボタンを長めに押して起動することをお勧めします。

1.7 操作方法の概要

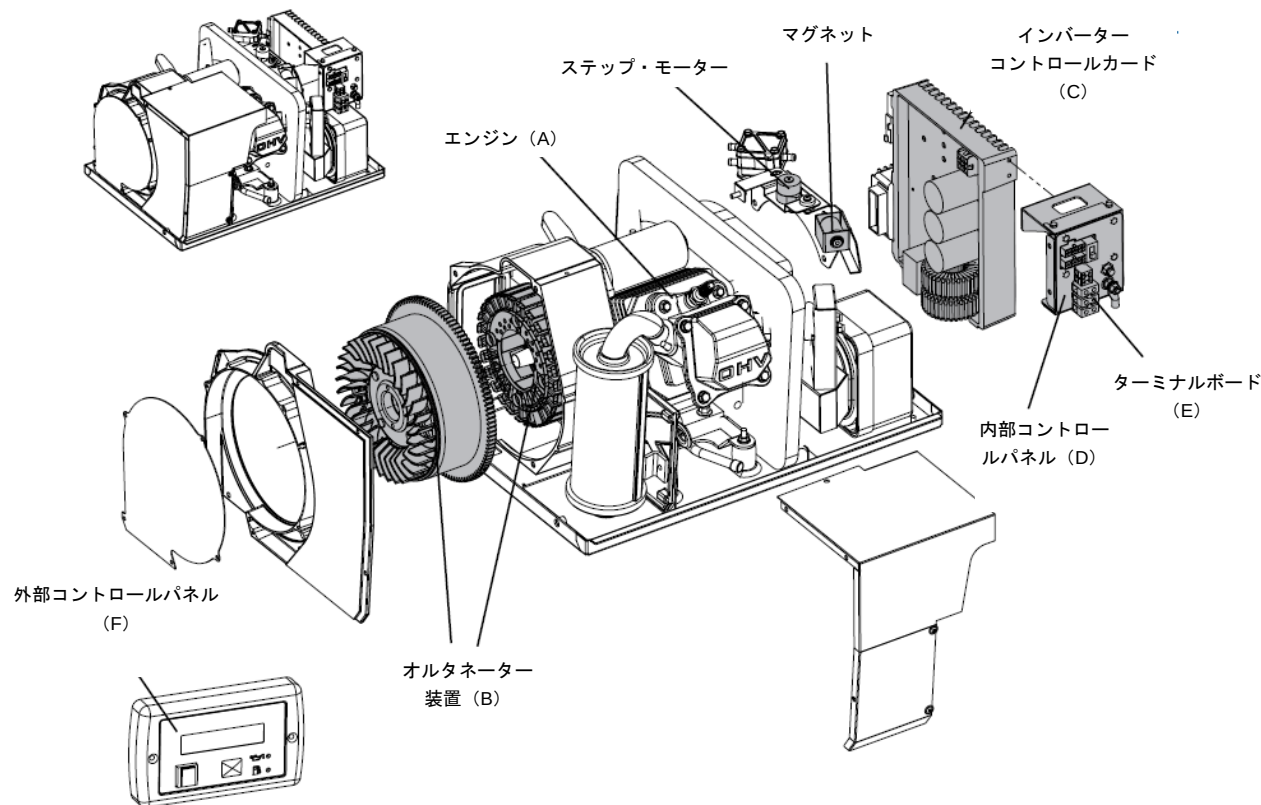
TEC 29 ジェネレーターは、エンジン(a)、永久マグネットオルタネーター(b)、インバーター(c)、内部コントロールパネル(d)、ターミナルボード(e)、外部コントロールパネル(f)を主な部品として構成されています。

エンジンを作動すると、エンジンがオルタネーターを作動させます。オルタネーターは、エンジンに接続した状態で固定されており、交流電流を生成してインバーターに供給します。インバーターは、供給された電圧を「変換」して品質を高め、完全に安定した 230V・50Hzの電圧を供給します。

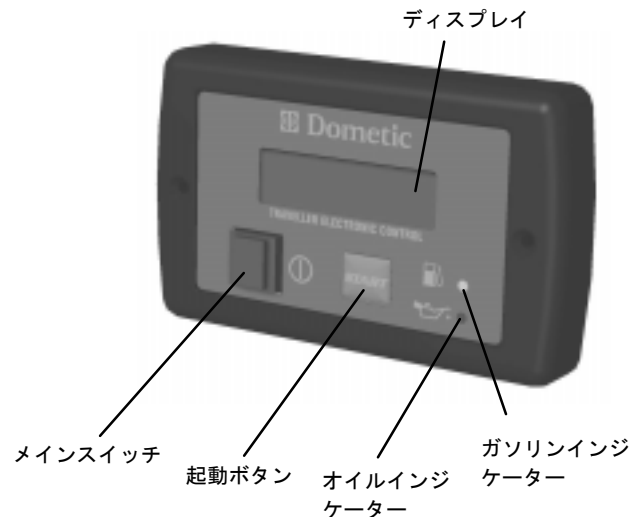
内部コントロールパネルには、ターミナル、ソケット（外部コントロールパネルの延長コードを接続）、安全スイッチが設置されています。

外部コントロールパネルには、以下の装置が設置されています。

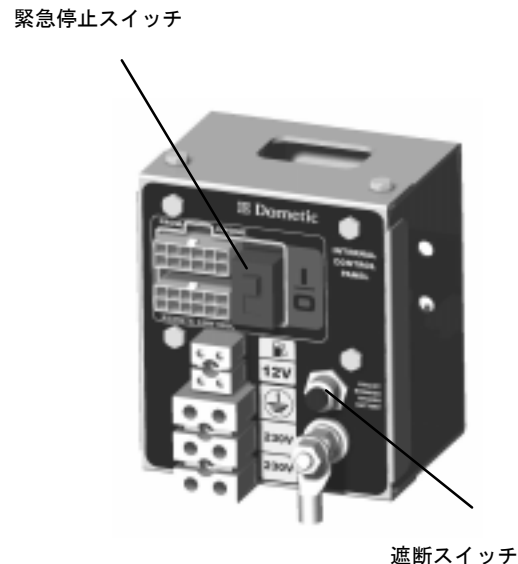
- ジェネレーターの起動ボタン・停止ボタン
- 主な電気特性を表示するバックライト付 LCD スクリーン、ジェネレーターの正常な作動を示すインジケーター、計時カウンター。問題が発生した場合には、このスクリーンに警告メッセージが表示されます。
- ガソリン／オイルの量が少ないことを示す LED インジケーター。



1.8 外部コントロールパネル



1.9 内部コントロールパネル



操作方法の概要

メインスイッチ:

起動ボタン:

ガソリンインジケーター:

オイルインジケーター:

緊急停止スイッチ:

遮断スイッチ:

パネルのスイッチをオンにします／ジェネレーターを停止します。

ジェネレーターを起動します。

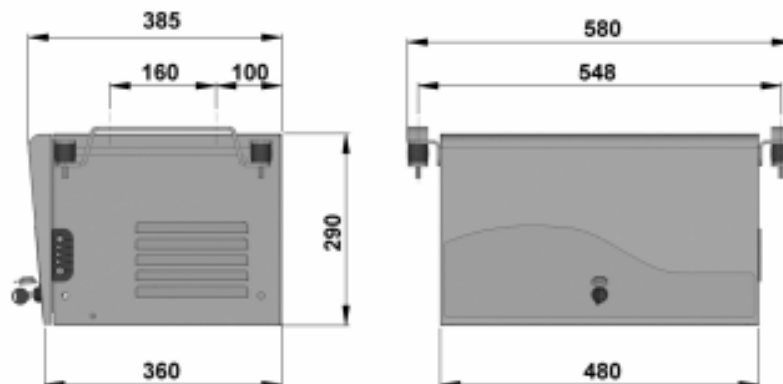
予備燃料を使用中であることを示します。

エンジンオイル量が少ないことを示します。

緊急時にジェネレーターを直ちに停止します。

連続電流サーマル・カットアウトを用いて保護します。

1.10 技術データ



項目	測定単位	値
供給電圧	V	230 ± 10%
最大連続電力	W	2600 ± 5%
周波数	Hz	50 ± 1%
直流電力	V/A	12 / 10
全高調波歪み (THD)	%	1
消費量	g/HP/h	230
重量	kg	44

1.11 ディスプレイに表示される警告メッセージ一覧表

表示されるメッセージ	説明	ジェネレーターの動作	対策
LOW BATTERY	バッテリー電圧がジェネレーターの起動に必要な最低電圧（9V）を下回っていることを示しています。	ジェネレーターが起動しません。	バッテリーの効率を点検してからジェネレーターを起動してください。
OIL CHANGE	装置の計時カウンタが事前に設定したエンジンオイル交換時期に達すると、毎回このメッセージが表示されます。	ジェネレーターはそのまま作動し続けます。	オイルを交換してから（20 ページを参照）起動ボタンを長めに押し、ジェネレーターを起動してください。
NO FUEL	予備燃料を使用していることを示しています。	ジェネレーターはそのまま作動し続けます。	燃料を再充填してください。
OIL ALERT	オイルタンクのオイルが空になっています。	ジェネレーターが停止します。	オイルを充填してください（11 ページを参照）。
GENERATOR ALERT!	一般的な警告メッセージ：たとえば、キャブレタースロットル（ステップ・モーター）のスナップリングが故障し、M110 モジュールによるモーター速度の確認ができない場合に、このメッセージが表示されます。	ジェネレーターが停止します。	トラブルシューティング表（18 ページ）を参照してください。問題が解決しない場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
OVERLOAD!	供給システムの出力に過負荷が生じていることを示しています。	インバーターが停止し、電圧の供給が停止します。ただし、内部の部品を適切に冷却するため、エンジンは作動し続けます。	接続負荷を下げ、ジェネレーターが冷えるまで数分間放置してください。メインスイッチを押し、エンジンを停止してください。次にジェネレーターを再起動してください。
SHORT CIRCUIT	供給システムの出力が不足していることを示しています。	インバーターが停止し、電圧の供給が停止します。ただし、内部の部品を適切に冷却するため、エンジンは作動し続けます。	接続しているシステムをすべて点検し、ジェネレーターが冷えるまで数分間放置してください。メインスイッチを押し、エンジンを停止してください。
OVER TEMPERATURE	熱過負荷が発生した場合に、このメッセージが表示されます。	インバーターが停止し、電圧の供給が停止します。エンジンは作動し続け、内部の部品を適切に冷却した後には停止し、メッセージ「RESTART GEN?」が表示されます。	ジェネレーターが冷えるまで数分間放置し、装置を再起動してください。
LOW POWER ENGINE	インバーターへの供給電圧が低下したことを示しています。	ジェネレーターが停止します。	接続負荷を下げ、ジェネレーターを再起動してください。
RESTART GEN?	ジェネレーターが何らかの理由により停止した後には、このメッセージが表示されます。	ジェネレーターが停止します。	メインスイッチを一度オフにしてからオンにしてください。ジェネレーターを再起動する場合は、起動ボタンを押してください。
GEN CAL	ジェネレーターの校正が必要な場合には、ジェネレーターを起動した際、ジェネレーターが起動する前にこのメッセージが表示されます。この時点では、ジェネレーターは電流を生成しません。	ジェネレーターが作動しますが、電圧は発生しません。	数秒間放置してください。
GEN WAIT	起動してしてから、次に起動できるようになるまでの間、このメッセージが表示されます。	ジェネレーターは作動しません。	メッセージが消えるまで待ち、再度起動してみてください。
GEN ON	ジェネレーターが作動していることを示しています。		

1.12 定期メンテナンス

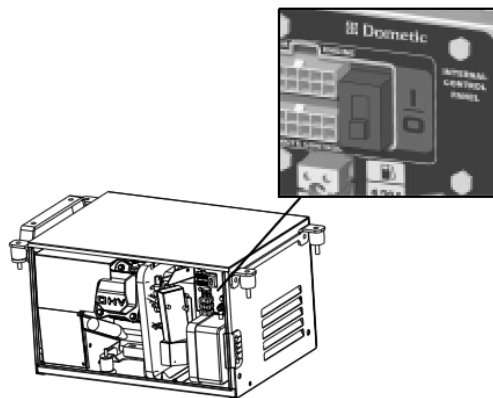
点検を行う際は、以下の注意事項に従い、ジェネレーターのドアを開けてください。

ジェネレーターを必ず停止し、すべての部品を冷却してください。

内部コントロールパネルの安全スイッチを「O」（オフ）にしてください。
自動車のバッテリーの陽極（+）の接続を外してください。

i 重要: 純正のスペア部品以外は使用しないでください。純正部品以外の品質規格の異なる部品を使用した場合、ジェネレーターが損傷するおそれがあります。

⚠ 重要:
点検終了後、忘れずに自動車のバッテリーの陽極（+）を接続し直し、スイッチを「I」（オン）に戻してください。



1.13 オイル量の点検

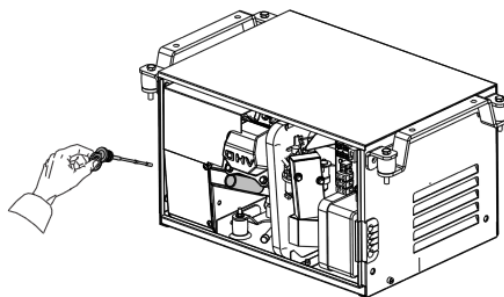
オイル注入装置を取り外し、布でオイル・スティックを拭き取ります。オイル・スティックをねじ込み、取り付け直します。

オイル・スティックを取り外し、オイル量が2つのマーク（最小値と最大値）の間にあることを確認します。

必要に応じて注入装置からオイルを追加します。製造業者が推奨するオイル以外は使用しないでください。

⚠ プラグを取り付け直してください。

i 重要:
すべての点検を実施し、ジェネレーターが水平に設置されていることを確認してください。



GB

注意

The image contains two technical drawings of refrigerators, labeled 'タイプ A' (Type A) and 'タイプ B' (Type B).

タイプ A (Type A): This drawing shows a refrigerator with its door open. Dimensions are provided in millimeters: top width 580, inner width 548, bottom width 480, depth 365, door height 290, door width 360, and door thickness 10.5. A label 'タイプ A' is at the bottom.

タイプ B (Type B): This drawing shows a refrigerator with its door closed. Dimensions are provided in millimeters: top width 548, inner width 310, bottom width 360, door height 290, door width 360, and door thickness 10.5. A label 'タイプ B' is at the bottom.

Common Labels:

- 吸気口 (Suction Port)
- オメガ・ブラケット (Omega Bracket)
- キャビネット (Cabinet)
- ガスケット (Gasket)
- 排水口 (Drainage Port)

「タイプA」組立品（外部設置）の場合には、内部に占める空間が少ない、短時間で設置できる、定期・臨時メンテナンス時のアクセスが簡単、といった長所があります。「タイプA」の設置を行う場合には、付属の「オメガ・ブラケット」を必ず使用し、装置を正しく確実に取り付けてください。「タイプB」の設置方法を用いてジェネレーターを設置する場合には（内部設置）、必ず自動車内に密封したキャビネット（防音処理が可能なもの）を用意してください。その際、キャビネットの床とドアには排気口と吸気口を設置し、ジェネレーターボックスと周囲の部品との間には20 mmの空間を設けるように注意してください。吸気口の面積は、必ず 240 cm² 以上としてください。また床とジェネレーターの基部との間には、必ず 5 mm 以上の耐火性ゴムガスケット（付属品番号AG128 で入手可）を取り付けてください。

2.2 排気システムの設置方法

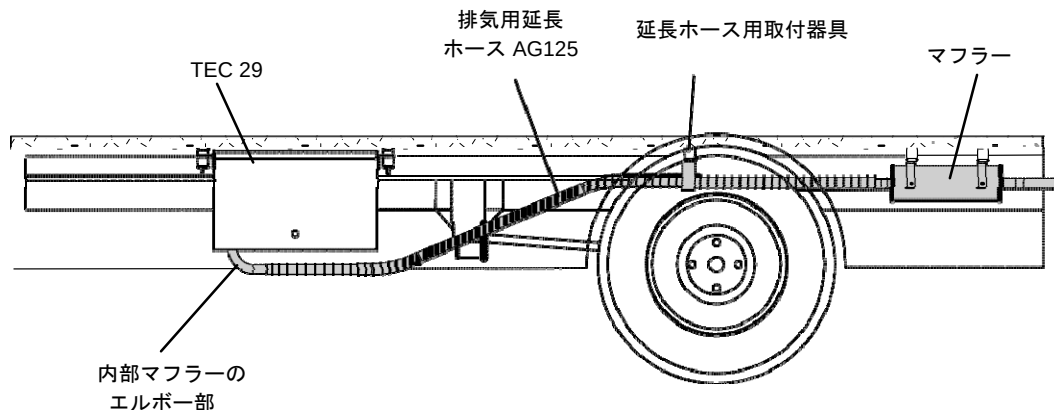
内部マフラーのエルボー部の位置を（図に示すように）ボックスの長さに合わせることをお勧めします。それにより、さらに多くの振動を吸収することができます。

排気用延長ホース（付属品番号 AG125 で入手可）を使用し、マフラーの位置を延長します。延長チューブを自動車の床に固定します。

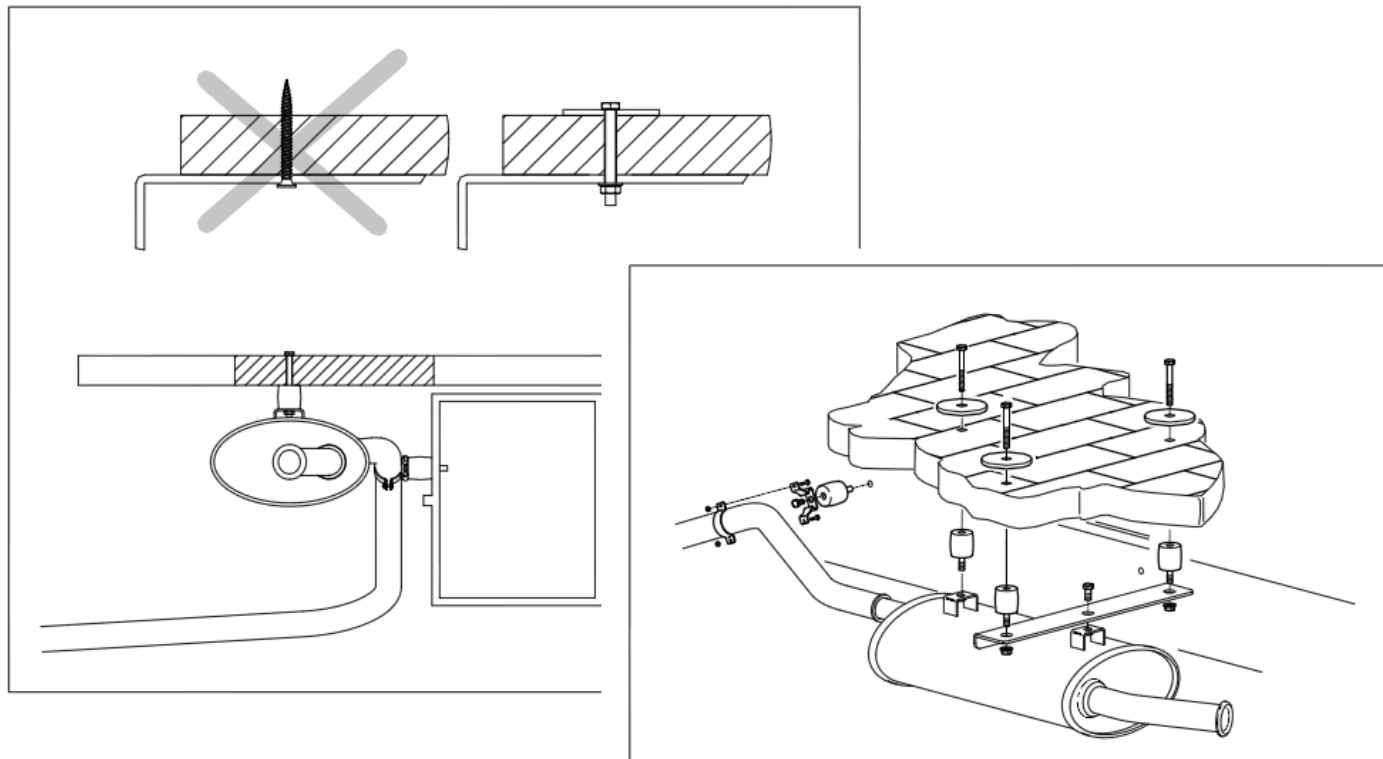


注意

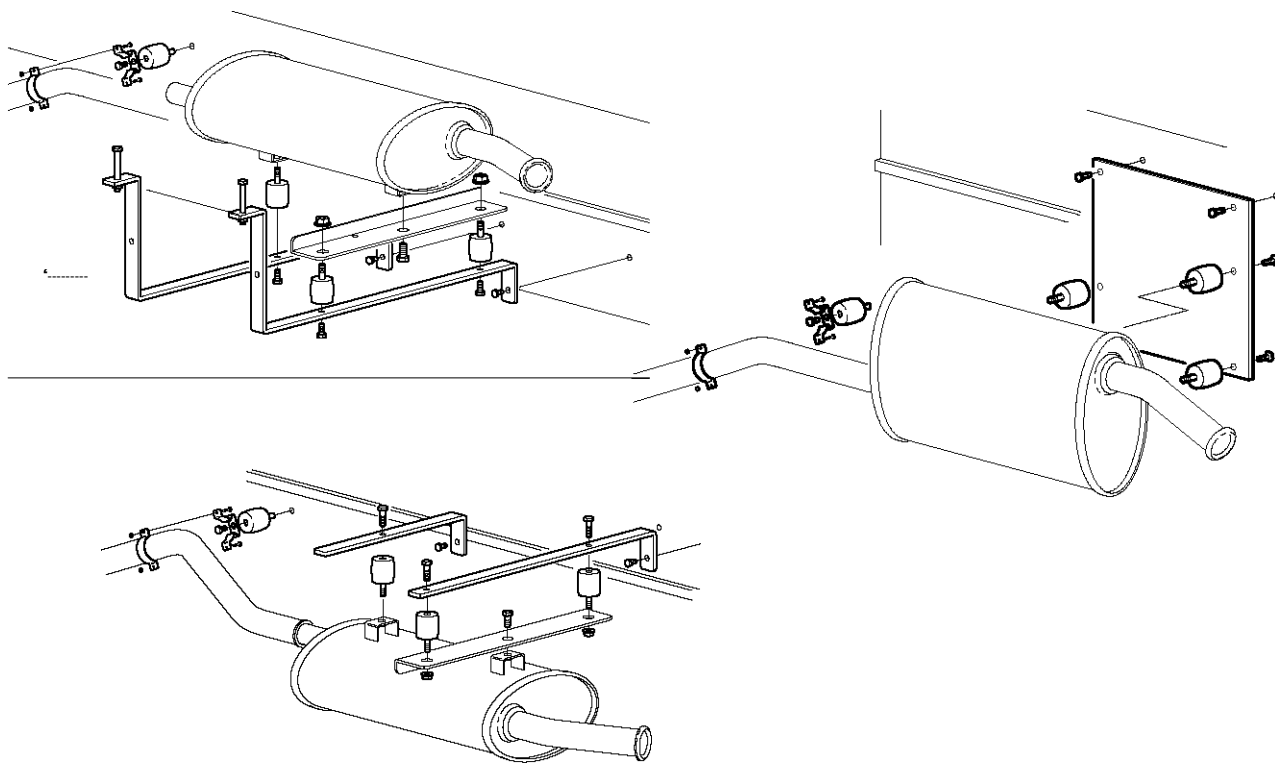
排気ガスの排出を妨げるおそれがあるため、ホースを鋭角に曲げないでください。



👤 排気システムの設置方法



● 排気システムの設置方法



2.3 電気接続方法

電気接続部が、すべての適用法・規則に適合していることを確認してください。



注意

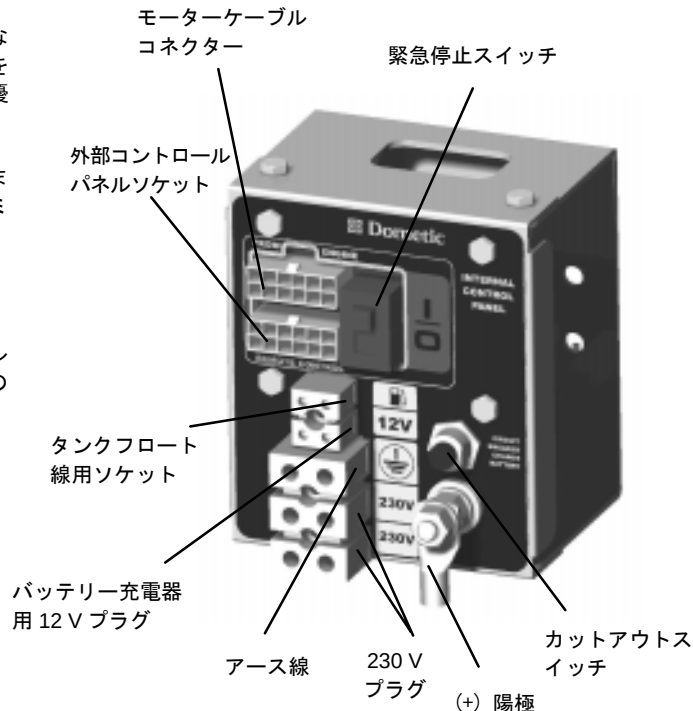
自動車の電気システムにリレーまたはコンテナー（付属品 A102 など）を必ず設置し、外部主電源を接続した際にジェネレーターが損傷を受けるのを防止してください。この場合、外部主電源ネットワークを優先するような方法でジェネレーターを接続することをお勧めします。

230 V の場合、表に示す標準的な断面積を備えたケーブルを使用します。ケーブルガイドを通してボックス内にケーブルを通し、ターミナルに接続します。アース線を接続します。

バッテリー充電器の電気接続

表に示す適切な断面積を備えたケーブルを使用します。ターミナルと充電するバッテリーの陽極をケーブルで接続します（17 ページの図を参照）。

断面積 mm ² 230V (電源ケーブル)	断面積 mm ² 12V (バッテリー充電器)	断面積 mm ² 長さ 6m 以下 (バッテリー接続)	断面積 mm ² 長さ 6m 超 (バッテリー接続)
2.5	2.5	10	16

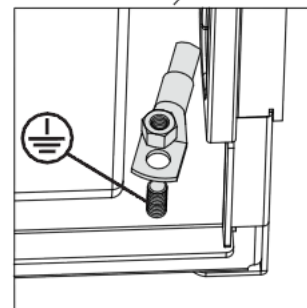
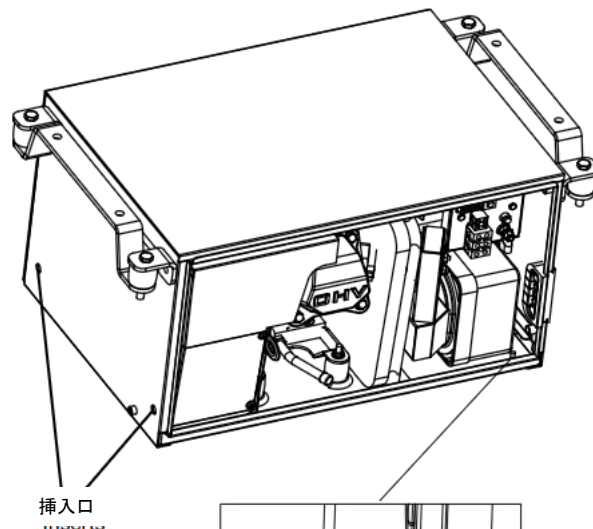


バッテリーの接続

ジェネレーターを起動するには、表に示す適切な断面積を備えたシースケーブルを使用し、ジェネレーターと自動車のバッテリーの陽極とを接続します。必ずシースケーブルと同じ断面積の接地ケーブルを使用し、図に示すように自動車のフレーム側面に接続するか、または挿入口を通して自動車のフレームに接続します。接続部の状態が良好であることを確認してください。必要に応じてフレーム表面から塗料や錆を取り除き、グリースで接続部を保護してください。

外部コントロールパネルの接続

自動車内部の適切な位置を選び、（付属の）延長リード線を使用してジェネレーターの外部コントロールパネルと内部コントロールパネルを接続します。



08



解決策

原因		解決策															
		緊急停止スイッチがオンになっていない。	スターターの電源が入っていない。	電気ケーブルが破損している。	ジェネレーターのアース線が破損している。	燃料が入っていない。	チョークが働いていない。	スロットルバルブが詰まっている。	キャブレターにガソリンが流れていない。	エアフィルターが汚れている。	吸気口が詰まっている。	インバーターが故障している。	負荷が 2.6 kW を上回っている。	バッテリー充電量が少ない。	スターターシャフトが汚れている。	エンジンオイルの量が多すぎる。	ステッパーマーターが故障しているか、接続が外れている。
 ユーザーが行う作業  資格を有する技師が行う作業																	
メインスイッチを操作しても、パネルのスイッチがオンにならない。																	
起動ボタンを押しても、ジェネレーターが起動しない（スターターモーターが作動しない）。																	
スターターモーターは作動するが、ジェネレーターが起動しない。																	
ジェネレーターがすぐに停止する。																	
ジェネレーターは作動するが、電流が発生しない。																	
ジェネレーターが起動した後に停止し、メッセージ「GENERATOR ALERT」が表示される。																	
発生した電流が振動する。																	

3.2 点検リストと点検実施時期

定期メンテナンス スケジュールに定められた間隔か、規定の運転時間に達した時点か、どちらか早い時点で実施すること。		毎回の 使用後	最初の 1 か月 または 20 時間 運転後	3 か月 または 50 時間 運転ご と	6 か月 または 100 時 間運転 ごと	1 年ま たは 300 時 間運転 ごと
エンジンオイル	点検					
	交換					
エアフィルター	清掃					
スパークプラグ	点検 - 清掃					
バルブ調整	点検 - 調整					
燃料タンク・燃料フィルター	清掃 - 交換					
防振装置取付位置	点検					
燃料ホースライン	点検（必要に応じて交換）	2 年ごと 				



3.3 臨時メンテナンス

一部のメンテナンス作業については、ジェネレーターの底部全体をボックスの側壁に設置されているガイドに沿って滑らせ、ジェネレーターをボックスから引き出して行うことがあります。固定用ネジを外すと、ジェネレーターの底部を自由に動かすことができます。



オイルの交換



注意

- ・ 高温のオイルによる火傷のおそれがあります。
- ・ エンジンのスイッチをオフにした状態でオイル量を点検してください。

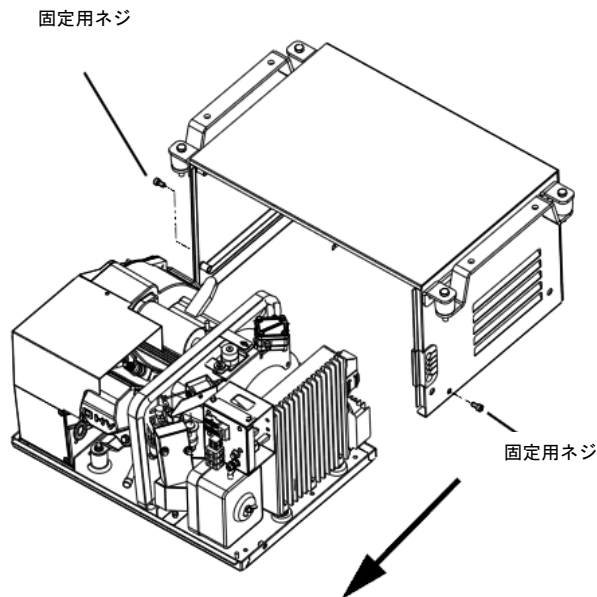


重要

古くなったオイルは、周囲に廃棄せず、作業を行う国の国内法に従い、必ず専用の廃棄施設に持ち込むか、リサイクルしてください。

4 ストロークエンジン用 API SG オイルか、SF オイルを使用してください（オイルの種類は、オイル缶に記載されています）。使用温度を問わず、SAE 10W-30 オイルの使用をお勧めします。モノグレードオイルを使用する場合には、ジェネレーターの設置場所の平均温度を基準として、適切な粘性を有するオイルを選択してください。

古くなったオイルを簡単に排出するには、ジェネレーターを約 36 秒間作動させます。それにより、オイルの流動性が増し、ドレンプラグを取り外した際にドレン管からオイルが流れやすくなります。オイル注入装置から、推奨されている種類のオイルをジェネレーターに再充填します。オイルの量は、以下のとおりです。



0.6 リットル

エアフィルターのメンテナンス



注意

エアフィルター部品の清掃にディーゼルや蒸発温度の低い溶媒を使用しないでください。引火や爆発のおそれがあります。



重要

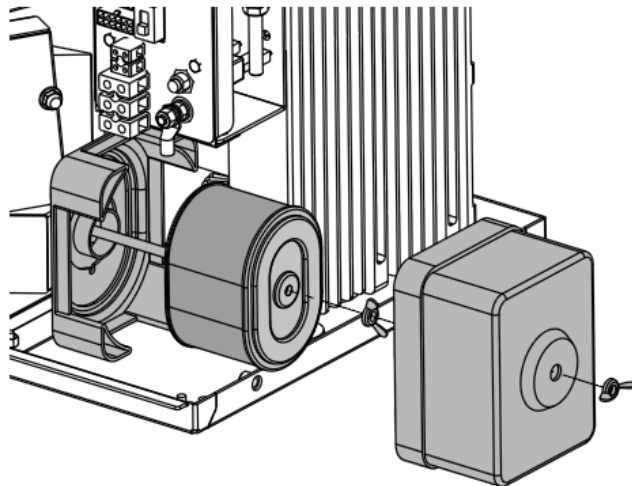
エアフィルターが汚れていると、キャブレターへの空気の流れが悪くなります。したがってキャブレターの故障を防ぐために、フィルターの状態を定期的に点検することをお勧めします。また、特に汚れの多い場所で TEC 29 を使用する場合には、点検の頻度を増やしてください。

エアフィルターを付けていない状態で、絶対にエンジンを使用しないでください。エンジンが短期間で摩耗するおそれがあります。

以下の 2 つの部品の状態を注意深く点検し、損傷している場合には交換してください。

スポンジ部品：中性洗剤溶液中で部品を洗浄し、十分にすすぎ洗ってください。部品を完全に乾燥させ、清浄なエンジンオイルに浸してから、余分なオイルを絞り出してください。

紙部品：部品の硬い面を軽く叩き、余分な汚れやほこりを取り除くか、圧縮空気を使用し、内側から外側に向かってフィルターに空気を吹き付けて清掃してください。ブラシを使ってほこりを払わないようにしてください。ブラシを使用すると、ほこりが紙部品の繊維内に入り込んでしまいます。汚れがひどい場合には、紙部品を交換してください。



スパークプラグのメンテナンス



注意

スパークプラグは、必ず適切に締め付けてください。スパークプラグが緩んでいると、非常に高温になり、エンジンを損傷するおそれがあります。

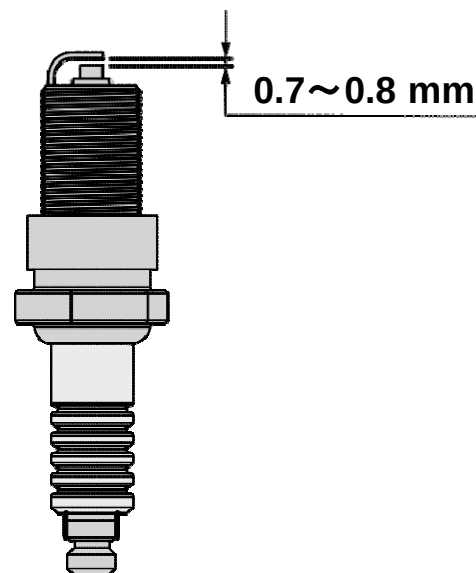


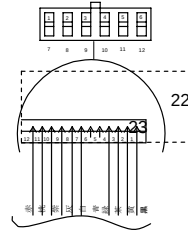
重要

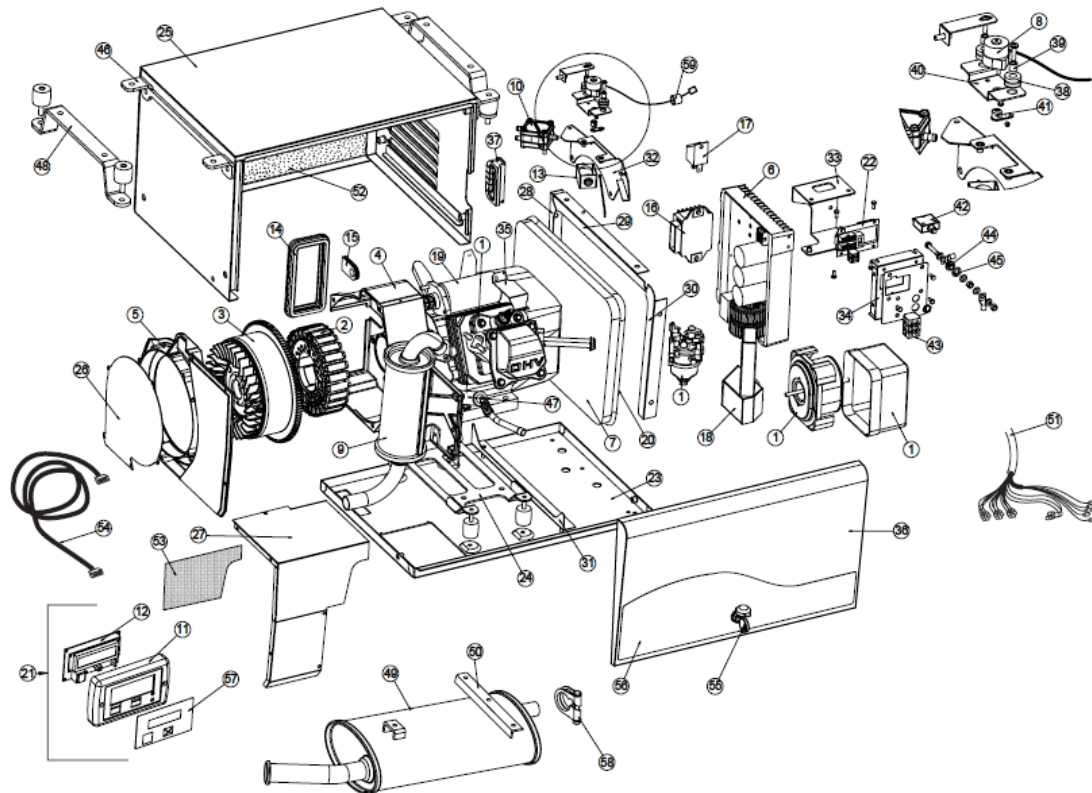
新しいスパークプラグを取り付ける際には、プラグがワッシャーを圧縮し始めてから半回転分締め付けてください。使用済のスパークプラグを取り付ける場合には、プラグがワッシャーを圧縮し始めてから 1/8～1/4 回転分締め付けてください。

ヒートレーティングの異なるスパークプラグは決して使用しないでください。

1. スパークプラグのキャップを取り外し、レンチを用いてプラグを取り外します。
2. スパークプラグを目視で点検します。プラグが摩耗している場合や、断熱材が破損または剥離している場合には、スパークプラグを交換してください。スパークプラグが汚れている場合には、ワイヤーブラシを用いて清掃し、状態が良好であれば再使用します。
3. 隙間ゲージを用いて電極間の間隔を測定します。
この間隔は、必ず 0.7～0.8 mm としてください。必要に応じて電極を曲げ、この間隔を調整します。
4. スパークプラグのワッシャーを点検し、状態が良好であることを確認します。状態が良好であれば、ねじ山をつぶしてしまわないように、スパークプラグを手でねじ込みます。
5. スパークプラグを手でねじ込んだら、プラグレンチを用いてプラグを締め付け、ワッシャーを圧縮します。







番号	部品名
1	GX160 エンジン
2	ステーター
3	ローター
4	オルタネーター・カバー
5	ナット
6	インバーター
7	エンジンカバー
8	ステップ・モーター
9	内部マフラー
10	ポンプ
11	パネルカバー
12	パネルカバー
13	チョークマグネット
14	シール
15	ケーブルガイド
16	12V レギュレーター
17	リレー
18	マニホールド
19	スターターモーター
20	エンジンカバー
21	コントロールパネル
22	内部パネルカバー
23	ベース
24	エンジンサポートブラケット
25	ジェネレーターボックス
26	ファンカバー
27	マフラープレート
28	リア・シール
29	トップ・シール
30	ドア・シール

31	ボトム・シール
32	ステップ・モータープレート
33	サポートプレート
34	フロントプレート
35	スパークプラグ
36	ドア
37	ケーブルガイド
38	ケーブルガイド
39	スぺーサー
40	ステップ・モーターサポートプレート
41	ガスレバー
42	15A サーマル・カットアウト
43	ターミナル
44	ブッシング
45	ブッシング
46	防振ブラケット
47	オイル・スティック
48	オメガ・ブラケット
49	外付けマフラー
50	外付けマフラー固定ブラケット
51	テック 29 配線
52	防音材
53	防音材
54	コントロールパネルエクステンション
55	ドアロック
56	ステッカー
57	コントロールパネルステッカー
58	ホールクランプ
59	フェライト